

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2021年1・2月号

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 中村 信博

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第618号

絵本「へいわってどんなこと?」(童心社 浜田桂子著・2011)は、日本・中国・韓国の絵本作家が手をつなぎ、子どもたちにおける平和絵本シリーズとして出版され、「せんそうをしない」「ばくだんなんかおとさない」「いえやまちははかない」「ではじまり、最後のページでは「へいわってばくがうまれてよかったっていいこと。」「きみがうまれてよかったっていいこと。そしてね、きみとぼくはともだちになれるっていいこと。」と結ばれています。

この素敵な絵本は内容は勿論のこと、これまでの歴史や平和認識の違いによる様々の障壁を抱えながらも、多くの時間をかけて制作されたことを紹介記事で読むまでもなく、その大変さは容易に想像できます。

私の拙い経験からも、国を越えた長い時間を経た交流から築き上げた信頼があつても、戦争の歴史や今も続く癒えない傷の存在、そして国や政治による今日の政策や外交戦略に対しての意見交換では、幾度も合意形成の難しさ

ともどかしさを痛感させられました。

だからこそ併せて、平和教育の大切さと、お互いの立場を理解しつつ「話し合う」時間を持つことでしか、真の平和は創ることが出来ないということを学びました。

ニュースで民主活動家の周庭さんが禁錮刑を受け収監されるなど、中国政府による締

平和を実現する人々は、幸いである

マタイによる福音書5章9節



財団評議員

神崎 清一

めつけが続く香港で、この絵本が読まれ続けている、日中韓の3カ国で出版された後、2019年12月に新たに「香港版」が刊行され、現地の出版賞も受賞したこと、そして著者の浜田さんのことばとして、絵本ができるまでの道のりは険しかったことが以下のようで紹介されていました。

「侵略の歴史や従軍慰安婦

られたりしない。」というページがあります。

これらのページが、韓国・中国版ならびに香港版を読んだ見たいものですし、あらためて話し合いたいという気持ちにさせられました。

2021年、私たちは新型コロナウイルスによる禍の前で恐れ、立ちどまり、小さくされています。この禍によって分断された社会の弱さの中での、私たちの生き様が問われています。

いじめや差別、紛争を解決する方法は、武力や力ではなく「話し合い」でしかなし得ません。

勿論SNSによることばの暴力や、他者を認めないことや話し合いの場所を占拠することでは、平和は創ることはできません。

新しく生まれ獲得した技術と経験、そして知恵と価値観を用いた「話し合い」を活用することで、すべての一人ひとりのいのちと日常の生活が護られますように。アジアの、世界の平和が来ますようにと祈ります。

すべてのこと、神さまに感謝して。(YMCA会員)

関東活動センター

●2020年度 聖書を読む講座II(共催:早稲田奉仕園)

〈新しい聖書の学び〉

「マルコ福音書をジックリと読む」(第3期)

講師 聖書学者 山口 里子さん

2020年9月〜2021年2月

Zoomによるオンライン講座

受講者寄稿
「マルコ福音書をジックリ読む」に参加して

○牛田 匡(大阪在住)

山口里子さんの「新しい聖書の学び」講座のことは以前から知っていましたが、大阪に住む私は参加できずにいました。「日本フエミニスト神学宣教センター」が二〇一九年末に活動を終了してからはその「通信」も無くなり、学びをどこかで続けられないかと模索していました。それがコロナ禍の中、オンライン講座となり、受講することができました。会場と違って議論がしにくいなどの不便もありますが、それでもメールで質問できるというのは大変便利です。次年度もぜひ継続して頂き

と諦めていたのです。しかし昨年、コロナ禍でオンライン開講となり、「三度目の正直」で受講できることとなりました。海外からも受講者がおられるそうです。実際、画面を通して、普段お会いできない方との再会は嬉しくもあります。

講師の山口里子さんは、大変わかりやすくいきいきと語ってくださいます。一世紀のナザレのイエスとその時代、社会を今日の聖書学の学問的成果やフエミニスト視点をふまえながら緻密に描き出し、イエスや福音書記者マルコは何を語りたかったのか、参加者は深く思い巡らすことができます。また、毎回寄せられるどんな質問にも丁寧に誠実に応えてくださり、里子さんからも「こんなテーマでみんなで話し合ってみない？」という呼びかけもあり、双方向のやりとりが開かれていて毎回楽しみます。

○清水和恵(北海道在住)

「東京でマルコを読むおもしろい講座がある!」と評判を聞いていました。が、札幌在住のわたしには「遠いなあ」

謹賀新年

コロナ禍で大変な時ですが、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー

代表理事 中村 信博

評議員

神崎 清一 理事

石田 光男

木原 活信

神田 健次

戒能 信生

小原 克博

神保 正男

中村 信博

西原 廉太

原 牧人

黒岩 裕二

増田 琴

監事

棟方 信彦

柳井 一朗

原 牧人

黒岩 裕二

横野 朝彦

棟方 信彦

棟方 信彦

関東活動センター

関東運営委員長

戒能 信生

所長代行 原 牧人

関西セミナーハウス活動センター

関西運営委員長代行

小久保 正

所長代行 榎本 栄次

関西セミナーハウス 経営委員長

榎本 栄次

館長 神崎 清一

事務局長 森口 明洋

森口 明洋

職員一同 奥田 豊

奥田 豊

関西セミナーハウス活動センター

●2020年度「開発教育セミナー」第4回
「在日外国人と創る新しい共生社会
〜移民の視点から学びなおす〜」

講師 武蔵大学社会学部教授 アンジェロ・イシさん
2020年10月25日(日)
会場：京都市国際交流会館

今回は、初めてリモートによる1日プログラムでの開催となった。

第1セッションでは、アンジェロ・イシさん自身の体験や日ごろ感じていることを率直に語っていただいた。外国人をいかに受け入れるかではなく、もうすでに多勢住んでいる。日本社会も外国人のことを理解する知識や意識が低いという意味で情報弱者である。オリンピックを前に、外国人のおもてなしには夢中だが、長く住む外国人には無関心であると指摘された。



第2セッションでは、コロナ禍での外国人の状況を話していただいた。外国人はすべて非正規雇用ゆえの「不況弱者」「不景気弱者」である。

そのため、リーマンショックでの教訓を生かせず、外国人の非正規雇用が再生産され、大変厳しい暮らしに追い込まれている。以前に比べて多言語の情報は増えたが、自動翻訳による誤った情報が掲載されていた。減った人口に見合った経済にしないで、今まで通りの経済大国で居続けたというのには、虫が良すぎる非人間的な発想だとの話は重い。

第3セッションでは、共生社会をどう創るのかについて提起していただいた。出身地に関係なく、日本に住むすべての人に平等な機会を与えられる取組とアフターマティ

アクションは、両方とも大事である。しかし日系4世や特定技能者は、家族帯同が禁止されている。家族帯同は、社会的コストを差し引いても、国益に適っている。今後、外国語でしか流通していない情報を日本語に訳して住民に届けることや地域のエスニックメディアと接続して、イベント紹介するなど発想の転換や

意識改革を是非とも進めてほしいと話された。
1日開催ということで、対話の時間は少なかったが、参加者からは、「情報が、参加者からは、「情報弱者の自分に気づかされた。まずは、自分のできることから始めていきたい」など当事者目線での貴重な話を聞いたという感想を多くいただいた。

●2020年度「開発教育セミナー」第5回
「これからの食と農のあり方を考える
〜タネ・食卓・地域〜」

講師 農家ジャーナリスト・AMネット 松平 尚也さん
2020年11月29日(日)
会場：京都市国際交流会館

京都市京北で農業を営みながら食と農から見える世界的課題について発信を続けている講師から経験と実践をもとにした話を聞き、私たちの食と農、世界のさまざまな課題について考えた。



コロナ禍において、世界各国の緊急事態宣言による休校から給食を食べられず37億人の子どもの栄養と健康に影響が出ているという統計がある。格差の拡大、貧困などが、これまでにも存在した課題が、新型コロナウイルスによって深刻化、顕在化していると言える。

また、国内では、2018年の種子法廃止と昨年末の種苗法の改正など、種子や農に関する新たな政策が、深い議論をされないまま進められ、

そこには当事者である農業に携わる人たちの意見を十分に取り入れられてはいない。

国連では、2019年から2028年までの10年間を「家族農業の10年」として定め、食料安全保障の確保と貧困や飢餓の撲滅をめざしている。食や農の問題は、地域づくり、労働、教育、政治などさまざまな場面と関係している。世界が大きく変化している時であっても、格差のない社会をめざして行動すること、それは、食や農に関わることだけでなく、地域、労働の場、学校……あらゆる場面で必要なことであり、コロナ以前から変わらないということを確認した。



プログラム案内

◆関東活動センター

■2020年度関東フォーラム宗教対話Ⅲ

「悪と苦難の問題を考える」

講師：本多 峰子さん(二松学舎大学教授)

日時：④3月18日⑤4月15日⑥5月20日 木曜13:00~15:00

会場：日本キリスト教会館1階16号室

参加費：1,000円(学生500円)

■2020年度聖書を読む講座I

「上林順一郎牧師と一緒に聖書を読もうーこの時代の中で聖書からメッセージを読み解く第2期」

日時：⑤2月24日⑥3月24日 水曜14:00~16:00

方法：早稲田奉仕園、セミナーハウス、Zoom 併用

参加費：全6回5,500円(学生3,000円)

◆関西セミナーハウス活動センター

いずれもリモート開催(Zoom)と関西セミナーハウス別館(10名まで)

■2020年度修学院フォーラム「社会」

第3回<エネルギーを考える9>

「原子力に頼らない未来の創り方」

日時：2月20日(土)10:00~16:00

講師：久保 文彦さん(上智大学)

東 西 南 北

◎シュベネマン クラウスさん(財団顧問、元財団理事長)

2月3日、逝去されました。83歳、これまでのご献身とご指導に感謝し、謹んで哀悼の意を表します。

財団本部 http://www.academy-nippon.com
関東活動センター http://www.academy-tokyo.com
関西セミナーハウス http://www.kansai-seminarhouse.com/
関西セミナーハウス活動センター http://www.academy-kansai.org

公益財団法人 日本キリスト教アカデミー
代表理事 中村 信博

本部事務局
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館1F
TEL 03-3207-6198
E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス/
関西セミナーハウス活動センター
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス
TEL 075-711-2115
E-mail:info@kansai-seminarhouse.com
関西セミナーハウス活動センター
TEL 075-711-2117
E-mail:office@academy-kansai.org

神学部講師)
竹村 英明さん(グリーン
ピープルズパワー株式会社
代表取締役)

参加費：2,000円(学生500円)

■2020年度修学院フォーラム「いのち」

第1回「すべての命を大切に〜

NPO法人こうのとりゆりかご in
関西の理念と現状」

日時：3月13日(土)13:30~15:30

講師：人見 滋樹さん(NPO 法人)

こうのとりゆりかご in
関西 理事長)

参加費：1,000円(学生500円)

第2回「ゲノム編集の光と影」

日時：3月20日(土)13:00~17:00

講師：中山 潤一さん(基礎生物
学研究所 クロマチン制御

研究部門教授)

土井 健司さん(関西学院
大学神学部教授)

参加費：1,500円(学生500円)

賛助会費・寄付金報告

2020年11月1日~12月31日
(順不同・敬称略)

◆関東活動センター

賛助会費

立原 敬一 10,000
島田 治夫 2,500
東矢 高明 5,000
神谷 伊勢男 5,000

寄付金(クリスマス寄付金を含む)

齊藤 潤 5,000
河原田 美哉子 5,000
横浜雙葉中学・高等学校 20,000

小林 誠治 10,000
東矢 高明 5,000
恵泉女学園中高・宗教部 20,000

飯田 庸子 2,000
村松 庸子 5,000
池内 友子 2,000

匿名 5,000
中井 博雅 10,000
最上 光宏 3,000

許 昌範 東京グロリア教会 5,000
谷津 慎子 5,000
松本 誠 5,000

許 昌範 5,000
萩原 好子 5,000
許 昌範 5,000

菅原 伸郎 5,000
石橋 光朗 2,000
中富 頌隆 5,000

小原 武夫 10,000

神学生プログラム寄付金

萩原 好子 5,000
中西 綾子 3,000
大橋 祐治 3,000

◆関西セミナーハウス

寄付金

森口 克洋 10,000
島田 恒 1,600
野嶋 和雄 10,000

◆関西セミナーハウス活動センター

賛助会費

細田 和民 5,000
中上 和子 5,000
高寺 幸子 5,000

樋口 よう子 10,000
森 ユキエ 5,000
日野 多栄子 3,000

白方 誠彌 10,000
田中 潤治 5,000

寄付金(クリスマス寄付金を含む)

細田 和民 10,000
友前 尚子 1,000
延原 正海 10,000

武山 泰子 10,000
桃山アシュラム有志 5,000
柳井 一朗 5,000

鳥井 清司 10,000
斉藤 洋子 4,000
南 和子 10,000

信岡 茂浩 10,000
竹中 百合子 100,000
笹部 一正 5,000

大門 義和 5,000
川北 かおり 10,000
岩坂 二規・泰子 5,000

繁永 幸久 10,000
山本 俊正 5,000
藤田 恭子 5,000

黒井 久代 3,000
浦 晴子 10,000
日本基督教団希望ヶ丘教会 5,000

シュベネマン クラウス 5,000
堤 龍春 5,000
和田野 勢津子 5,000

武田 正一 3,000
藤田 敦子 5,000
島田 恒 5,000

日野 多栄子 3,000
伊藤 正子 1,000
匿名 5,000

李 善恵 5,000
杉本 尚司 2,000
根岸 宏邦 10,000

日本基督教団和歌山新生伝道所 3,000
東 千代 5,000
高橋 望 3,000

滝澤 佐紀子 2,000
真鍋 裕子 3,000
織田 雪江 5,000

多木 秀雄 3,000
長村 光造 5,000
佐野 千枝子 5,000

在日大韓基督教京都教会 5,000

以上感謝をもってご報告申し上げます。